

拒絶理由通知書



特許出願の番号 特願2002-229585
 起案日 平成18年 9月29日
 特許庁審査官 渡邊 聰 8622 5Q00
 特許出願人代理人 前田 弘 (外 7名) 様
 適用条文 第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

(請求項1、2、5、6について)

補正後の請求項1に係る発明は下記のとおり。

記

異なる発光波長の発光部を持つ半導体レーザ素子アレイと受光素子と対物レンズとが一体的に固定配置されたユニットを備え、レーザ光を前記対物レンズを介して記録面の高さの異なる第1及び第2の光記録媒体に照射して、前記第1及び第2の光記録媒体の記録または再生を行う光ピックアップ装置に用いる有限共役型の光ピックアップ装置用対物レンズであって、

前記対物レンズは、その開口数の切り替えを前記異なる発光波長の切り替えで制御でき、かつ前記異なる発光波長のレーザ光が前記第1または第2の光記録媒体に結像するように、そのレンズ曲率及び非球面係数が定められていることを特徴とする光ピックアップ装置用対物レンズ。

上記構成の内「異なる発光波長の発光部を持つ半導体レーザ素子アレイと受光素子と対物レンズとが一体的に固定配置されたユニットを備え、レーザ光を前記対物レンズを介して記録面の高さの異なる第1及び第2の光記録媒体に照射して、前記第1及び第2の光記録媒体の記録または再生を行う光ピックアップ装置に

現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2001-076367号公報 ✓
2. 特開平09-270145号公報 ✓
3. 特開平10-021574号公報 ✓
4. 特開2000-348367号公報 ✓
5. 特開2002-056569号公報 ✓

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C G 1 1 B 7 / 1 3 5

DB名

・先行技術文献 特開平10-255305号公報 ✓
特開平07-302437号公報 ✓
特開2000-306258号公報 ✓
特開平06-163988号公報 ✓
特開2000-011417号公報 ✓

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部情報記録 渡辺 聰

TEL. 03(3581)1101 内線3551

FAX. 03(3580)6906